



一般社団法人 Dog for Life Japan 殿

松山市

■実績

代表の砂田眞希さんは介助犬訓練士の勉強のためアメリカへ留学し、2012年に松山を拠点に活動をはじめ、手足が不自由な人の日常動作を助ける「介助犬」、耳が不自由な人に必要な音が鳴っていることを知らせる「聴導犬」の育成および普及活動に取り組んでいます。

介助犬・聴導犬を必要としている障がい者から申し込みがあると、自宅の訪問・面談の上でその障がい者の生活環境に合った合同訓練を実施します。その後、介助犬・聴導犬を貸与し、犬が引退するまで継続的なフォローアップを実施します。補助犬の育成・訓練にかかる多額の費用は、自治体からの補助や企業や団体・個人などからの寄付でまかなわれています。全国で盲導犬は約800匹いますが、介助犬と聴導犬はあわせて約100匹。ニーズが多いにもかかわらず訓練団体は県内で唯一で、活躍している介助犬や聴導犬の数もわずかです。介助犬・聴導犬に関する認知向上が大きな課題で、砂田さんは育成中の犬たちとともに講演活動やイベントの開催を行っています。介助犬・聴導犬は障がい者の負担を軽減するだけではありません。犬との信頼関係を築くことで、自立心や社会参加へのモチベーションを高める役割も担っています。また障がい者が犬に話しかけたり世話をすることがリハビリに繋がり、人生を豊かにしてくれる存在となっています。

砂田さんは「1頭の犬が障がいのある方の生活にどれだけの影響を与えるか。自分が経験した幸福感を多くの方に経験してもらいたい」と活動を続けています。